

粉骨碎身

百折不撓

「令和元年度 野球部 結果報告」

今年度も多くの方々に支えられ、3大会に出場することができました。特に秋季大会は大野農業・八雲高校の顧問、選手の皆様のおかげで大会に参加することができました。本当にありがとうございました。1, 2年生は、先輩方の意志を受け継いで目標達成に向けて一生懸命取り組んでくれることを期待します。今年度も応援していただいた、保護者の皆様、七飯高校の生徒、先生方、OBの方々、地域の方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

★春季大会

【1回戦】 対 函館西高校 4-3 勝 (延長13回タイブレーク)

【準々決勝】 対 函館工業高校 (第1シード) 1-2 負

★選手権大会

【1回戦】 対 函館中部高校 0-1 負

地域に応援される野球部を目指して

★秋季大会 {3校 (大野農業高校・八雲高校・七飯高校) 連合で出場}

【1回戦】 対 函館工業 3-6 負



令和元年度秋季大会の様子

【北海道高野連函館支部 事業日程について】

○令和2年1月25日(土) 中体連連携推進事業

○令和2年2月24日(日) ベースボールフェスティバル

※詳しくは、北海道高等学校野球連盟のホームページをご覧ください

URL : <http://www.hokkaido-hbf.jp/hp/index.html>

3年間を振り返って 3年生からメッセージ

『主将として思うこと』 福田 駿介 主将（函館桔梗中学校卒）

僕は、高校生活の二年半を野球部として活動してきました。この2年半を通して得たことや感じたことを書きたいと思います。僕は小・中とサッカーをやっていました。ですが、元々野球には興味があり、思い切って高校では野球部に入部しました。初心者ということもあり、経験者との差を感じ、挫けそうになることもありましたが、先生方、先輩、後輩、同じ学年の仲間が一から丁寧に温かく教えてくれて、何とか最後までやり抜くことができました。僕が3年間一生懸命取り組むことができた野球部を紹介します。七飯高校野球部は、人数が少ない分、1年生の時から出場機会があり、試合経験を積むことができます。休日の練習試合で出た課題を改善するための練習を平日は繰り返し行います。冬期間は、基礎トレーニングを中心として、体力や筋力トレーニングを行い、心技体の底上げを図ります。辛いトレーニングもありますが、その経験を乗り越えることで、パワーや技術、メンタル面でとても成果が出るため、達成感を得られます。最後に、僕自身が野球部で学んだことを言いたいと思います。まず、自分で考えて行動をすることです。先生や先輩方から言われたことを行うことももちろん大事ですが、一つレベルを上げて、次に何を言われるかを予想して動いたり、全体の状態を見て何が足りていないかを把握したりして行動することを学びました。これができるようになるために行動に起こして失敗することもあります。失敗を恐れず何度も行動することで気持ちが強くなったり、反省して正しいことを覚えたりすることができました。そして何よりも部活動を通じて、「感謝」と「礼儀」を学びました。これまで野球ができたのは、親、顧問の先生、学校の先生方、生徒の皆さん、部員、地域の方々、相手チーム、グラウンド、道具など、たくさんの人が関わって下さったり、支えて下さったり、応援して下さいただいたおかげで思いっきり夢中になることができ、一球に対して必死になれるのだと改めて感じるすることができました。最後に、七飯高校は「全力疾走」と「全力発声」を常に徹底しています。そして、これを徹底することで、普段の行動や挨拶にも活かすことができます。このように、七飯高校野球部では、技術的な行動はもちろんですが、将来社会人としてどうあるべきかを学ぶことができ、人として成長できる場です。これから七飯高校野球部が更に発展し、僕たちの目標でもあった「全道大会出場」を果たしてほしいと思っています。選手、マネージャー、七飯高校野球部へたくさんの入部をお願いします。



『野球に出会えたことへの感謝』 小原 敬太 副主将（七飯大中山中学校卒）

僕は、高校で初めて硬式野球に取り組み、高校野球で学んだことがたくさんあります。僕が野球を始めるきっかけは太りすぎて親に何かスポーツをしろと言われ、薦められたのが野球でした。最初は本当に嫌でした。嫌々見学に行ったときの記憶は今でも忘れていません。冬の練習だったため、体育館で行われ、響き渡る声にはとてもしびれました。そしてコーチの人に色々な話を聞き、軽くキャッチボールをしました。初めて本格的に野球らしいことをしました。このことが僕の野球のスタートでした。正直もっと早くからやっていたらと後悔するくらい野球にのめり込んでいきました。そして5年後高校野球の世界に入り、初めて会った仲間たちはみんな優しく面白い



やつらばかりで楽しく真剣に打ち込むことができました。そして、自分を変えてくれる指導者、監督の有澤先生に出会いました。ボールが軟式球から硬式球に変わり、跳ね方やボールの打ち方を一から優しく教えてくれる先生や先輩方がいたのですぐに感覚をつかめることができました。入学後すぐに試合に出場させていただき良い経験ができました。僕は、高校入学後から、初めて付くポジションがたくさんあり、様々な経験を積むことができました。遠征でいきなり外野手に付けと

言われた時は正直驚きました。できるか心配でしたが、周りの先輩がフォローしてくれて、練習でも先生が熱く教えてくれたりしたおかげもあったので人並みにはできるようになりました。1番驚いたのは、新チームになってからの室蘭遠征で試合の途中からキャッチャーに交代してプレーしたことです。先生は、初心者同然で無知な自分を見放さないで配球やブロックなどを最後まで指導して下さい、また引退した先輩も来てくれたりして教えてくれました。最後はできるようになり、キャッチャーは楽しいポジションだと思えるようにまでなりました。最後に、たくさんの方々にお世話になり、人間として成長させてくれる部活だと僕は思います。以前はわがままだった自分から、人の気持ちを尊重したり、周囲を見渡す力も身につきました。技術の向上はもちろんですが、もう一度言います。「人間として成長できる部活」なので、本当に僕は七飯高校野球部、このスポーツをやってきて良かったと思っています。

『全員野球の大切さ』 西村 爽吾 副主将（七飯中学校卒）

私は、この高校野球でたくさんのことを学びました。ここで伝えたいことは「高校野球」という舞台で学んだことです。私が七飯高校に入学し、まず教えられたのは、挨拶や礼儀など、野球以外の面で、入学当初から最後まで教えられてきました。野球が上手くなるだけではなく、高校卒業後の社会人になるための準備としてたくさん学びました。1年生の時は、技術面でも精神面でもまだまだ未熟だったので追いついていこうと必死でした。最初にノックを受けたとき、軟式のボールとは違い、硬式ボールは打球の質が違いました。入学した頃は、試合の打球どころか、ノックの球ですら捕れなくて、先生や先輩方にコツを教えてもらい、時間をかけることによりできるようになりました。そして私は主に投手として頑張ってきました。投手は試合中でも野手とは違う動きもするポジションです。野手と練習するメニューも異なり、精神面でも十分に鍛えられました。もちろん取り組む量も多くて、辛かったし大変でした。しかし、マウンドでの振る舞いや配球など、細かいところまで教えてもらい、辛かった分成長することもできましたし、学んだことを体に染みこませて、力にすることもできました。練習試合や大会で投手として活躍したり、バッティングでチームに貢献したり、大変なポジションではありますが、プロ野球のように投手には投手の役割の投げることを優先するのではなく、高校野球は投手も九人目の野手、九人目の打者として、チームが一つになって、一つの試合を戦って勝利を勝ちとるということを学び、意識しながら取り組んできました。先生からも教わってきた通りで、九人が全力を尽くして戦わないと勝てないということ、そしてさらにグラウンド場で戦っている選手は九人だけではなく、ベンチで仲間を鼓舞してくれたり、バット引



きをしてきている選手、いつも支えてくれたマネージャーなど、サポートに回ってくれた人の分まで精一杯プレーすることを何より先生に強く言われたことも印象に残っています。これから高校野球という新しい舞台を迎える人は、決してそれを忘れず、感謝の気持ちを持って日々の練習、試合も頑張ってもらいと思います。結果は残せなくても、そこで自分たちの代が終わってしまっても学んだことや成長したことは身体に染みついたままです。中学生の皆さんは、野球ができる感謝の気持ちと自分が掲げる大きな目標、自分の周りには応援し見守ってくれている人たちがいることを決して忘れず、短い時間で汗水たっぷり流し、努力をし続け頑張って下さい。

『仲間の大切さを感じて』 綿谷 雄斗（北斗大野中学校卒）

私は部活動を通じて多くのことを学ぶことができ、3年間でとても成長することができました。それは、野球のバッティングや守備などのプレーはもちろん、一人の人間としてこれから社会に出て行くのに必ず必要なことです。例えばコミュニケーションを図ることです。野球では会話が非常に重要です。仲間がエラーやミスをしたら「大丈夫、大丈夫、次切り替えていこう」などと声を掛けたり、ミスした人も「次はミスした分絶対に取り返すから」とお互いを励まし合ったりする中でコミュニケーションの大切さを学びました。また、野球はとても頭を使うスポーツです。バスケットやサッカーのようにプレーが連続して続くスポーツではないので、一球一球プレーが途切れ、一球



一球場面が変化していきます。状況に応じて一人だと考え切れないこともあります。その時に、全員で確認し、伝達することで、仲間に伝わります。このようなことで人に物を伝える力が付きました。他には、礼儀が身につきました。野球は広いグラウンドで行うスポーツであるため、挨拶なども大きな声で言わないと相手に届きません。なので、常に大きな声で言葉を発することを意識していました。世の中には当たり前のことを当たり前でできない人もいます。部活動を通じて、

上下関係などの礼儀も学ぶことができ様々な部分で成長することができました。その他には、協調性が身についたと思います。野球は団体競技なので一人でできるスポーツではなく、監督、部長、レギュラー、ベンチ、マネージャー、保護者などすべての人の力があって試合ができます。だからこそ多くの方に支えられていることを理解し、相手に対しての思いやりなどを感じられる人になることができます。そして一番大きかったことは大切な仲間を得たことです。同じ目標を持って取り組んだことで試合に勝ったら一緒に喜び、負けたら一緒に悔しがって次の試合に向けて練習する。きつい練習も声を掛け合って取り組み、同じ目標を持った仲間と生活していくうちにお互いのことが解ってきて、学校生活以外の時でも一緒に遊んだりしていました。一生付き合える仲間ができました。この3年間で本当に成長したくさんのことを学ぶことができました。この経験は必ず大人になってから役に立つと思うので、これからも感謝の気持ちを忘れずに生きていこうと思います。

今年度もご声援

ありがとうございました

